

平成29年度 大石小学校の教育目標と経営方針

平成29年4月策定

1 本校教育の基盤

本校の教育は、日本国憲法、教育基本法、学習指導要領並びに福岡県教育施策実施計画、**うきは市教育大綱**、うきは市教育振興基本計画の教育方針を基盤とし、児童・保護者・地域の実態や現代社会の要請を勘案して教育活動を展開し、確かな学力、豊かな心、健やかな体を身につけた子どもの育成を図る。

うきは市教育大綱

うきは市教育振興基本計画

うきは市が
めざす
子ども像

志をもって、自ら学び ともに心豊かに
たくましく生きる うきはの子どもたち

<本校の教育目標>

郷土に誇りを持ち、他とたくましく共生し、未来を切り拓いていく子の育成

(1) めざす子ども像(中・長期的目標)

「夢に向かって自分の頭と心と体を磨き、鍛える大石の子」

かしこい子 《 自ら考え、学び合う子 》
心豊かな子 《 ルールを守り、認め合う子 》
たくましい子 《 心身共に健康で、最後までやり抜く子 》

(2) めざす学校像

- 礼節と活気のある学校
- 子どもたちの笑顔あふれる学校
- 掃除、整頓が整った美しい学校
- 保護者、地域に信頼される学校

(3) めざす授業像

- 課題意識と学ぶ意欲を高め、自己の伸びを振り返ることができる授業
- 子ども自ら学びの構え(学習規律)や学び方を身に付けることができる授業
- リズム、テンポ、キレのある授業(緩急をつけたメリハリと集中)
- 「書く、話す・聞く」言語活動を重視したじっくり考えさせる授業
- 自他のよさを認め合い、考えを広げ、深めることができる授業

(4) めざす教師像

- 子どもへの教育愛と使命感を持つ教師
- 一人の子も粗末にせず、粘り強く、熱意を持って指導を行う教師
- 教師としてのプロ意識を持ち、専門性を磨き続けていく教師
- 同僚性を発揮し、協働的に職務を遂行する教師

2 本校の教育課題

(1) 教育課題

- 確かな学力の育成
 - ◆学ぶ意欲の醸成と自主的・継続的な学習習慣の定着
 - ◆基礎的・基本的な内容の習熟と思考力・判断力・表現力の育成
 - ◆学びの基盤としての「7つの約束」学習規律（しつけ）の充実
- 豊かな心の育成
 - ◆お互いによさを認め合い、思いやり、関わり合う人間関係づくり（社会性）
 - ◆大石マナー（おじぎあいさつ、あったか言葉、そうじ、整理整頓 等）の浸透
 - ◆規範意識と自尊感情の高揚
 - ◆自分で目標を立て、粘り強く努力していく目的意識・向上心の育成
- 健やかな体の育成
 - ◆基本的な生活習慣の定着（スマホ、ゲームの制限、早寝、早起き、朝ご飯等）
 - ◆自己の運動課題に応じた体力向上への挑戦
 - ◆食に関する感謝の心とマナーや食習慣等日常の実践力の向上

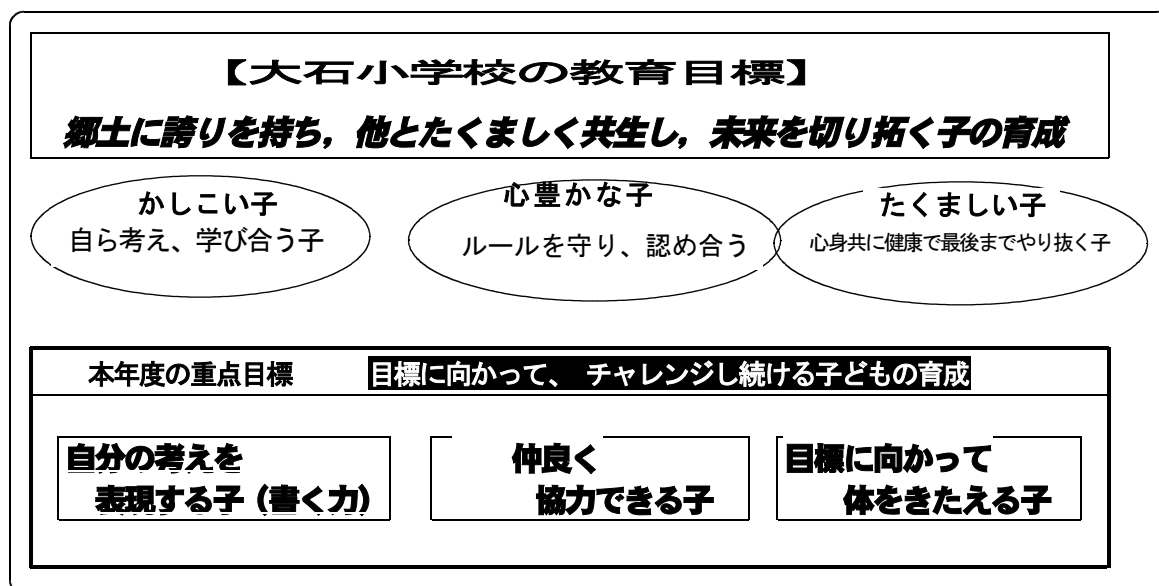
(2) 経営課題

- 教職員の学校経営参画意識の高揚 **（自分がこの学校を回すんだ！）**
- 協働体制と役割意識（チーム大石）の確立 **（石垣の隙間を互いに埋め合う）**
- 授業力及び学級経営力の向上 **（どの学年でも担任できる真の実践的指導力の習得）**
- キャリアステージに応じた主体的・目的的な資質・能力の向上
（自ら学ぶ教師のみ、人を教える資格有り）

3 経営の基本方針

- (1) 学習指導要領に基づき、思考力・判断力・表現力を基盤とした社会を生き抜く力を育むために、特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善のマネジメントサイクルを重視する。
- (2) 本校の教育課題や経営課題をもとに、知・徳・体のバランスのとれた教育をめざし、職員の協働実践（チーム力）を重視した学校経営の充実を図る。
- (3) 「一人の子どもも粗末にしない」人権・同和教育及び特別支援教育の充実を図る。
- (4) 教職員の資質・能力の向上をめざし、意図的、計画的な校内研修を推進し、実践的指導力、学級経営力を高める。
- (5) 個に応じた指導体制・指導方法を工夫し、資質・能力の二極化の解消をめざす。（交換授業、合同授業、G T活用、保護者、地域ボランティアの活用）
- (6) 安全管理についての危機意識を高め、学校内外における安全管理に努める。
- (7) 地域の伝統文化を継承し、地域の教育資源を活用した教育活動を推進すると共に、学校と家庭・地域及び諸機関との連携した取組ができるように努める。
- (8) 学校の自己評価（関係者評価）を実施し、教育活動の改善、充実を行う。

4 本年度の重点目標



合言葉

元気にあいさつ！ めあてにチャレンジ！

5 本年度経営の重点

(1) 目標に向かって、チャレンジし続ける子どもの育成をめざした

機能的・協働な組織運営

- ①共通理解と協働実践による3つのプロジェクトチームの機能化・活性化
 - 3つのプロジェクトチームの目的、内容、方法及び年間活動計画の策定
 - ミドルリーダー及びメンバーの役割分担とスケジュールの明確化
 - 部会の定例化とメンバーの役割の自覚及びPDC Aサイクルの機能化
- ②マネジメントサイクルを生かした学級経営等、各種校務分掌組織の経営改善
 - 自己評価表と一体化した学級経営案の活用
 - 協議事項の精選、時短の工夫
 - 共通理解→ 協働実践→ 成果共有の確実な実施
- ③校内研修の日常化を図る研究推進体制の充実
 - OJTによる協働体制のシステムづくり
 - 授業研究の日常化(社会科学習指導、ICT活用等の研究授業、講師招聘)
 - 校外研修の学びの共有化
- ④各種学校評価等を生かした学校経営改善(自己評価、学校関係者評価の活用)
 - 内部評価(教職員評価、子どもの評価、保護者評価)及び学校関係者評価の積極的活用と経営改善

※目的、内容、方法のつながりと評価指標の具体化

(2) 目標に向かって、チャレンジし続ける子どもの育成をめざした教育活動

- ①自ら学ぶ意欲と目標をもって、チャレンジする子どもが育つ教育課程の編成・実施・評価
 - 学力・体力向上プランの具体化と浸透、協働実践と評価を重視する。
 - 子どもの課題に応じた教科の重点単元や重点活動等の充実
 - 週指導計画による意図的、計画的なカリキュラムマネジメント

- 大石タイムⅠ(体力づくり)、Ⅱ(漢字・計算)・読書活動(朝読)の成果の見える化
- 基礎力・活用力を付ける補充学習や個別指導の時間確保と指導体制の工夫

②基礎力・活用力を育成する日常の授業づくりの工夫 **(学びづくり)**

(※標準学力テスト4教科、すべて +0.5ポイント上昇)

- 7つの約束(学習規律)を徹底し、主体的に学ぶ学習集団づくりをめざす。
- 課題意識をもち、考えを書く・話す力を高める学習指導の工夫 **(板書計画)**
- 考えと理由、根拠を書く活動(ノート指導)の重視と学び合いのしかけの工夫
- 特別支援教育(UD)の視点を生かした学習指導や学習環境等の工夫
- 家庭学習への意欲を高める授業づくりの工夫 **(予習学習等)**

③礼節と忠恕の心を育む豊かな心の育成 **(心づくり)**

- 大石マナー等学校の規律の共通理解と徹底(挨拶・言葉遣い・掃除・食習慣等)
- 「**考え、議論する道徳**」を目指した心に響く道徳学習の工夫改善
- 児童がつながりを深め、協働する話し合い活動の積み上げ
- 異学年がつながりやソーシャルスキルを高める縦割り班活動の充実
- 全教育活動を通しての人間尊重の精神にたつ人権・同和教育の推進
- いじめや不登校を防止する積極的な生徒指導の組織的な推進

④体力向上プランをもとにした年間の継続的・具体的な取組を推進する。

(体づくり)

- 基本的生活習慣を徹底するための家庭との連携(睡眠時間、スマホ、ゲーム等)
- 日常の給食指導を核としたマナーや人間関係、感謝の心の育成を図る。
- 外遊び、スポコン、縄跳びを奨励し、学級、個人の目標達成の意欲を高める。

(3) 目標に向かって、チャレンジし続ける子どもの育成をめざした教育環境の整備

①子どもが育つ内部環境の充実

- 教師の指導力量を高める**週指導計画、板書計画**の内容充実
- 安心と自信を育む学級・学校集団づくりの充実
- 子どもを鍛え、ほめる教室、学校環境の工夫、改善
- 個に応じた指導及び鍛えるための指導体制の充実
(少人数授業、交換授業、合同授業、専門性を生かした授業、)

②子どもが育つ外部環境の充実

- 保護者と一体となった「あいさつ運動」見守り活動(安全安心な環境整備)
- 家庭との連携を図った「**家庭学習強調週間**」による習慣化の浸透
(プラスワンノート閲覧会、検定等)
- 読書習慣の定着、基本的生活習慣(スマホ、ゲーム、睡眠時間等)の向上をはかる保護者との連携
- 重点目標達成のためのG T活用、保護者、地域ボランティア等の活用
- 「あいさつ運動」と「いもっ祭」による大石自治協議会等との連携
- 地域人材等による「**あこがれモデル**」との出会いの場の設定(キャリア教育)